

## 目標2 だれもが安心して暮らせる社会づくり

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
配偶者等からの暴力の防止に向けた広報・意識啓発の充実	DV・デートDV防止のための広報・啓発活動	21	講演会、講座等の開催による啓発	人権男女共同参画課	学校出張「デートDV予防講座」の開催	交際相手からの心と体への暴力を「デートDV」といい、犯罪となる行為を含む深刻な人権侵害です。自分の身体を認識し、コントロールする能力を身につける大切な時期である思春期に、日々生命誕生の場にいる助産師に、デートDVの正しい認識と自分自身及び家族や周囲の命をかけたがいのないものとしてとらえる考えの理解と予防について学びます。講師：平野素尚さん（一般社団法人埼玉県助産師会 助産師）他 実施回数 7回（中学校6校、小学校1校）	実施目標 6校 また、実施の学校への講座開催を呼びかける。
	女性に対する暴力から人権を守る活動の推進	22	講演会、講座等の開催による啓発	人権男女共同参画課	「～DVがおよぼす心と体への影響～」講座の開催	新型コロナウイルス感染拡大により、生活不安やストレスなどで、家庭内で起こるDVの増加が深刻化しています。DVがおよぼす心と体への影響を知り、DVが身近に起こったとき、自分や大切な人を守るため何ができるか学びます。講師：池田ひかりさん（社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師） 12月23日実施 参加者数13名	引き続きDV防止講座を企画・実施する。
	女性に対する暴力から人権を守る活動の推進	22	講演会、講座等の開催による啓発	人権男女共同参画課	「DV防止セミナー」～DVがもたらす子どもへの影響～ 子ども家庭総合支援センター共催講座	夫婦間で起こるDVを子どもが目撃することで、子どもの発達に悪い影響があると言われています。本講座は、女性や子どものトラウマ治療の第一線で活躍している精神科医の白川先生に、DVがもたらす子どもへの影響について講演いただきます。講師：白川美也子さん（精神科医・臨床心理士） 11月19日実施 参加者数55名	
児童虐待防止の推進	児童虐待防止に関する啓発活動の充実	23	広報、ホームページ、パンフレット等による啓発	子ども家庭総合支援センター	児童虐待防止啓発活動	1. 講演会 日時：11月19日（金） ①「DV防止セミナー～DVがもたらす子どもへの影響～」 講師 白川美也子氏 対象 要保護児童対策地域協議会実務担当者他 参加者数 20名 ②講師との意見交換会 参加者10名 2. 11月の児童虐待防止推進月間における普及啓発 ①学校、保育所、公民館、医療機関等啓発ポスター・チラシ等の設置 ②広報、ホームページ、市役所一階電子モニターに児童虐待防止啓発について掲載。	11月の児童虐待防止推進月間に講演会及びポスター・チラシ等の普及啓発を実施する。
		23	広報、ホームページ、パンフレット等による啓発	健康増進課	両親学級、妊婦教室での啓発	両親学級、妊婦教室で「乳幼児揺さぶられ症候群」について、テキスト・DVDを用いて説明。	継続実施
	児童虐待の早期発見と支援体制の充実	24	上尾市子ども支援ネットワークによる連携	子ども家庭総合支援センター	上尾市子ども支援ネットワークの開催	児童虐待防止などへの迅速な対応・支援を図るため、関係機関や市の関係部局で組織する「上尾市子ども支援ネットワーク」（上尾市要保護児童対策地域協議会）を開催し、各会議において情報共有・協議を行った。個別支援については、支援方法の検討及び担当者間の共通認識の確保を行い、関係機関で連携を図り、迅速な対応を行うことができた。 ・代表者会議 1回 ・実務者会議 13回 ・個別支援会議 36回	代表者会議 1回 実務者会議 13回 個別支援会議 適宜 開催する。
		25	健康診断・各乳幼児健診時における虐待の発見	保育課	健康診断時における虐待の発見	保育所での健康診断において虐待等が発見された場合は、速やかに市の児童虐待担当へ連絡を取り、適切な対応を図る。 令和3年度 0件。	保育所での健康診断において虐待等が発見された場合は、市の児童虐待担当へ連絡を取り、適切な対応を図る。
		25	健康診断・各乳幼児健診時における虐待の発見	健康増進課	周産期虐待予防強化事業	医療機関と地域保健機関等が連携して妊娠・出産・育児期に養育支援を必要とする家庭を積極的に把握し、訪問支援等を行うことにより育児不安の軽減や孤立防止を図り家庭の養育力の向上を目指すとともに児童虐待の予防に資することを目的とし、事業を実施した。 ・令和3年度報告件数 市内医療機関/81件、市外医療機関/107件	継続実施
		25	健康診断・各乳幼児健診時における虐待の発見	健康増進課	乳幼児健康診査の実施	保健センターでの乳幼児健康診査において虐待等が発見された場合は、速やかに市の児童虐待担当へ連絡を取り、児童相談所等関係機関と連携し適切な対応を図る。 令和3年度該当なし。	対応を継続
		25	健康診断・各乳幼児健診時における虐待の発見	学校保健課	健康診断時における虐待の発見	「養護教諭のための児童虐待対応の手引（文部科学省、平成19年10月発行）」及び「子供たちを児童虐待から守るために（日本学校保健会、平成26年3月発行）」に基づき、定期健康診断時等に、虐待の早期発見のための留意事項を確認するよう養護教諭に指導した。また、発見後は速やかに管理職に報告し、管理職の指示の下、医療機関との連携を図り、迅速かつ適切に対応するよう指導した。	定期健康診断時等に、虐待の早期発見のための留意事項を確認するよう養護教諭部会で1回以上周知する。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
被害者への支援体制の充実	相談体制の充実	26	女性のための相談、女性のための法律相談の実施	人権男女共同参画課	女性のための相談の実施	自分自身の性格や生き方、夫や家族との関係、夫や恋人からの暴力などさまざまな問題で悩んでいる女性のための相談を実施（予約制）。 相談員：女性カウンセラー（NPO法人フェミニストカウンセリング東京） 相談日 毎週水曜日午前10時～正午・午後1時～4時 相談時間 1人50分間で1日5人の相談を実施 相談件数 194件	予約制の相談について、なるべく多くの市民が利用できるようキャンセルがあった場合には、速やかに他の希望者に連絡するよう徹底する。
		26	女性のための相談、女性のための法律相談の実施	人権男女共同参画課	女性のための法律相談の実施	離婚、夫や恋人からの暴力など法律の問題で悩んでいる女性のために、女性弁護士による法律相談を実施（予約制）。 相談日 毎月第3火曜日 午後1時～4時 相談時間 1人30分間で1日5人の相談を実施 相談件数 44件	
		26	女性のための相談、女性のための法律相談の実施	人権男女共同参画課	DV相談の実施	DV等に関する相談に、配偶者暴力相談支援センター女性相談員が応じた。 相談日 毎週月～金曜日午前10時～正午・午後1時～4時 相談件数 618件	
		27	配偶者暴力相談支援センターの機能充実	人権男女共同参画課	女性相談案内カードの作成	センターで作成した女性相談事業を案内する名刺サイズのカードを配布した。コロナ禍のため、イベント等におけるカード配布ができなかったため、新たに作成はせず、在庫の配布で対応した。女性が手に取りやすいよう市役所本庁舎の女性トイレ内に設置した。	目標2、OOO部作成 カード置き場を新規開拓する。
		27	配偶者暴力相談支援センターの機能充実	人権男女共同参画課	配偶者暴力被害者保護に関する証明書の交付	配偶者からの暴力を受けた人の保護に関する証明書を交付した。 申請 8件 交付数 12枚	申請を受けたものについては、速やかに発行する。また、DV相談にて、証明書が必要と思われる相談者には制度を案内する。
被害者への支援体制の充実	自立に向けての支援の充実	28	生活保護等の経済的支援	生活支援課	生活支援	DV被害者が加害者から避難することにより、経済的に困窮し加害者以外の扶養義務者からの援助も困難である場合、生活保護制度による自立支援を行った。 令和3年度実績 7件 ※他市町村で保護され一時保護施設を経て上尾市が受け入れた事例は 0件 ※上尾市で保護し一時保護施設を経て他市町村に移管した事例は 2件	DV被害者が加害者から避難することにより、経済的に困窮し加害者以外の扶養義務者からの援助も困難である場合、生活保護制度による自立支援を行う。
		29	個人情報保護の徹底	市民課	住民基本台帳の一部の写しの交付制限による支援	「上尾市ストーカー行為等の被害者等に係る住民基本台帳の一部の写し等の交付の制限に関する条例」に基づき、ストーカー被害者、DV被害者、児童虐待被害者、その他生命や身体に危害を及ぼす暴力等を受けるおそれのある人から住民票や戸籍の附票の写しの交付を拒む求めがあった時は、当該交付の請求及び申出を拒む手続きをとり、DV被害者への支援を行った。 申請件数282件（599人）うちDV 119件（293人）	引き続き、申出があったDV被害者への支援を行う。
		30	国民健康保険等への加入の支援	保険年金課	国民健康保険加入支援	課内の連携を取り、DVからの避難のため住所地と異なる場所に居住している被害者に、居住地による国民健康保険加入の支援を行った。 市外に住民票あり/R3年度新規加入1件 配偶者暴力相談支援センター等公的機関のDV保護証明書、本人確認書類、住民票、アパート契約書、資格喪失証明書・生保廃止連絡票等の書類を受領した上、現地調査による居住確認後保険証を交付。 相談を受けてから保険証交付に至るまで、関係各課と連携し情報を共有することにより、なるべく短期間・最少来庁回数による手続きを行い、DV被害者の負担軽減に努めた。	課内の連携を図り迅速な対応が取れるように、DVからの避難のため住所地と異なる場所に居住している被害者に、居住地による国民健康保険加入の支援を行う。 相談を受けてから保険証交付に至るまで、関係各課と連携し情報を共有することにより、なるべく短期間・最少来庁回数による手続きを行い、DV被害者の負担軽減に努める。
		31	児童、生徒に対する就学援助	学務課	就学支援	DVから避難するため、上尾市へ住民登録を行わず居住する被害者の小・中学生の子どもの転入学については、緊急措置として市内小・中学校への就学ができるよう就学願を受理し、就学を許可した。この際、転入先の市内小・中学校や、転出元の教育委員会と連携を図った。 また、学校生活に関し特に不安がある場合には、DV被害者からの相談により、子どもたちの状況に応じた配慮ができるよう転入する学校に依頼を行った。 さらに経済的に困窮しているとの相談を受けた場合には、就学に必要な費用の一部を援助する就学援助制度について案内し、認定者へ学用品費・給食費等の必要な援助を行った。 ・DVに起因する就学願の届け出により就学を許可した人数2人	DVから非難するため、上尾市へ住民登録を行わず居住を行う小・中学校の子どものについては、緊急措置を取り、就学の許可を行うこと、また、就学援助制度について該当者に向けた周知を行う。
		32	保育所への入所支援	保育課	保育所への入所支援	DV被害者の子どもの保育所入所申請があった場合、住民登録をしていなくても受け入れるなどの支援を行うことについて担当内で確認した。 令和3年度の実績は0件。	DV被害者の子どもの保育所入所申請があった場合、支援を行うことについて担当内で確認する。
33	必要な母子保健サービスの提供	健康増進課	母子保健サービスの支援	住民票のないDV被害者の子どもに対しても各種母子保健制度が利用できるような体制に努めている。	継続実施		
34	心のケアを支援	健康増進課	心のケアを支援	住民票のないDV被害者の子どもに対しても心のケアを支援ができるような体制に努めている。	継続実施		
34	心のケアを支援	人権男女共同参画課	心理教育プログラム「びーらぶ」	DV被害者へ県実施の「びーらぶ」の紹介を行った。 ※「びーらぶ」はDV被害を受けた女性とその子供が同時に学ぶことのできるプログラム	今年度も開催決定。引き続き、案内・紹介を行う。		

施策	事業	概要No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
被害者への支援体制の充実	関係機関との連携の推進	35	上尾市DV対策庁内連絡会議による連携	人権男女共同参画課	DV対策庁内連絡会議の開催	「上尾市DV対策庁内連絡会議」 庁内における横断的な取り組みの中でDV被害者に対する支援を図るため、この連絡会議の中でDVに関する研修を実施した。13課で組織（市民税課、納税課、学務課、子ども支援課、保育課、子ども・若者相談センター、生活支援課、高齢介護課、障害福祉課、健康増進課、市民課、保険年金課、市民協働推進課） ・第1回会議（上尾市DV被害者支援マニュアル他） 7月15日 ・第2回会議（DV防止研修）11月19日	会議を開催（2回）し、各課の連携を強化する。
		36	関係機関との連携	人権男女共同参画課	DV対策庁内マニュアルの活用	上尾市DV対策庁内連絡会議を組織する13課にDV対策庁内マニュアルを配布。各課で対応しているDV被害者に対する支援事業を確認、連携に生かした。	DV対策庁内マニュアルの更新。引き続き、個々のケースに対する情報共有や連携を行う。
		37	一時保護施設等への入所支援	人権男女共同参画課	緊急一時保護のための宿泊施設借上げ支援制度の実施	DV被害者とその家族に対し、緊急一時保護のための宿泊施設借上げ支援制度を実施している。 令和3年度 1件（1泊分）	相談者の身の安全を守るため、ひとりひとりの状況から適切な避難先を検討、支援する。
		37	一時保護施設等への入所支援	人権男女共同参画課	一時保護施設等への入所支援	DV被害者の相談に応じるとともに、関係機関との連携を図り、一時保護施設等への入所支援を行った。 ・一時保護施設への入所支援 5件 ・民間ステップハウスへの入所支援 2件	
研修機会の充実	被害者支援に向けた研修の実施	38	DV被害者の支援を担当する職員や地域関係者等を対象とした研修の実施	人権男女共同参画課	「DV防止セミナー」～DVがもたらす子どもへの影響～ 子ども家庭総合支援センター共催講座	夫婦間で起こるDVを子どもが目撃することで、子どもの発達に悪い影響があると言われている。本講座は、女性や子どものトラウマ治療の第一線で活躍している精神科医の白川先生に、DVがもたらす子どもへの影響について学ぶ。 講師：白川美也子さん(精神科医・臨床心理士) 11月19日実施	継続して実施する
男女の性を尊重する健康づくりの推進	性の尊重や心身の健康支援の推進	39	相談体制の充実	人権男女共同参画課	アイリスホットラインの紹介	アイリスホットライン（性暴力等犯罪被害専用相談電話）の紹介。電話やZOOMで相談できる。女性男性問わず相談可能。	相談者にあった相談先、相談方法を紹介する。
		40	性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブヘルス/ライツ）の広報・啓発	人権男女共同参画課	男女共同参画リーフレットの作成	男女共同参画リーフレットの配布 リプロダクティブヘルス/ライツについて、記載。中学校等への出張講座の際に配布した。 令和3年度の作成はなく、過年度の在庫で対応。	より理解が深まるようリーフレットの内容を見直し、作成する。印刷予定数3,500部
		41	HIV/エイズなどの性感染症に対する正しい知識の啓発・健康教育の促進	指導課	年間指導計画の作成	男女平等教育主任を校務分掌として位置づけ、「男女平等教育」「性に関する指導・エイズ教育」の全体計画・年間指導計画を作成し、共通理解の下、教育活動を行った。	男女平等教育主任を校務分掌として位置づけ、「男女平等教育」「性に関する指導・エイズ教育」の全体計画・年間指導計画を作成し、共通理解の下、教育活動を行える体制づくりをする。
		41	HIV/エイズなどの性感染症に対する正しい知識の啓発・健康教育の促進	指導課	教員の指導力向上	保健・保健体育に係る教師用指導書を各小・中学校に整備するとともに、年間指導計画に位置付けられ、確実な指導が行われるように指導した。 文部科学省「学校における性に関する指導及び関連する取組の状況について（令和4年3月10日）」等を配布し、各校における指導の見直しを図るようとした。	各学校の体育科・保健体育科の年間指導計画への位置づけを確認し、着実な指導が行われるように指導する。 学校訪問や体育実技伝達講習会等の研修会において、性に関する指導の充実を図るための具体的な指導方法について触れ、教員の指導力向上を図る。
		41	HIV/エイズなどの性感染症に対する正しい知識の啓発・健康教育の促進	健康増進課	性感染症に対する正しい知識の啓発	実施していない。相談窓口として、保健所を紹介している。	対応を継続
		42	不妊・不育治療等の経済的支援の推進	健康増進課	不妊治療費・不妊検査費・不育症検査費助成事業	特定不妊治療及び男性不妊治療を受けた人を対象に治療費を助成。 不妊治療費助成事業 助成件数 186件 男性不妊治療費助成事業 助成件数 2件 夫婦がともに受けた不妊検査・不育症検査で、対象となる検査費について助成。 不妊検査費助成事業 助成件数 76件 不育症検査費助成事業 助成件数 14件	早期不妊治療費助成事業、不妊検査費・不育症検査費助成事業を継続実施

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
母子保健事業の推進	母子の健康支援の推進	43	母子健康手帳交付時期等における面接・相談の実施	健康増進課	母子健康手帳の交付	東保健センター及び子ども家庭総合支援センターに助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターを配置し、母子健康手帳交付時に全妊婦に対し、妊娠・出産・育児に関する相談を行っている。 R3年度 交付件数 1,467	継続実施
		44	妊婦教室の開催	健康増進課	妊婦教室（プレママ教室1日目）・両親学級（プレママ教室2日目・パパママ教室）の実施	パパママ教室（両親学級）1日コース（土曜日開催）とプレママ教室（妊婦教室）2日コース（ただし、2日目は両親で参加）（2日とも平日開催） 講師は、1日コースは保健師、2日コースは歯科医師、保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士で実施した。 実施回数 1日コース年8回、2日コース年6回 参加者 1日コース延べ359人、2日コース延べ305人	2日コースを1日コースにし再編し継続実施。 プレママ教室 6回（平日） パパママ教室 8回（土曜日開催）、6回（平日開催）
		45	妊産婦の健康支援の充実	健康増進課	妊婦健康診査費用の助成事業	妊産婦健康診査費用の助成事業 ・一般健康診査 17,599件 ・子宮頸がん検診 1,339件 ・HIV抗体検査 1,410件 ・超音波検査 延べ5,361件	継続実施。 R4年度から産婦健康診査費用の助成を開始。
		45	妊産婦の健康支援の充実	健康増進課	新型コロナワクチン接種における妊産婦枠の設置と託児の実施	新型コロナワクチンの集団接種会場において妊産婦枠を設けた。また、子育て世代が接種しやすい環境を作るために託児を実施した。 ・妊産婦枠（8月29日～10月31日） 予約実績 126人 ・託児（9月19日～10月24日） 託児人数33人	・集団接種会場は終了。 ・産科医療機関を含む個別医療機関で実施。 ・土日にも接種を継続。
		46	妊産婦・新生児訪問の実施	健康増進課	妊産婦・新生児訪問事業の実施	妊娠中の人や出産後3か月くらいまでの母親と乳児がいる家庭に助産師や保健師が訪問し、妊娠中の生活や出産、育児についての相談や指導を行った。 就学前の乳幼児がいる家庭に対し、保健師が訪問し、発育、発達、育児等についての相談・支援を行った。 ・妊産婦訪問指導 妊婦/延べ49人 産婦/延べ1,034人 ・新生児訪問指導 新生児/延べ118人 ・未熟児訪問指導 未熟児/延べ59人 ・乳幼児訪問指導（新生児、未熟児を除く） ・乳児/延べ941人 幼児/延べ189人	継続実施
ライフステージに応じた男女の健康支援の推進	男女が共に人生を健康で過ごせる事業の推進	47	健康講座・相談の実施	健康増進課	健康講座	【出前講座】 ・母子保健 11回 参加者 延べ53人 ・健康教育（成人・精神）11回 参加者 延べ254人 【調理実習】 ・ランチ調理実習 4回 参加者 延べ27人 【運動教室】 ・からだ改善！キテ軽運動教室等 15回 参加者 延べ74人 【栄養教室】 ・学ぼう！脂肪を貯めにくくする食事 7回 参加者 延べ19人 【埼玉県健康マイレージ事業】 ・ウォーキング教室 1回 延べ19人 ・親子ヨガ 2回 延べ22人 ・体力測定 2回 延べ16人 【食生活改善推進員育成】 ・食生活改善推進員育成講座 4回1コース 参加者 延べ26人	継続実施 出前講座 随時 調理実習 4回 運動教室 14回 栄養教室 11回 埼玉県健康マイレージ事業、関連の運動講座 6回 食生活改善推進員育成講座 4回1コース
		47	健康講座・相談の実施	健康増進課	健康相談事業	【こころの健康相談】 ・精神科医師、保健師による面接相談 9回 相談者 延べ24人 【こころの悩み相談】 ・臨床心理士、保健師による面接相談 28回 相談者 延べ48人 【いのちのオンライン相談窓口】 ・Web相談窓口 相談者 延べ67人 ・LINE相談窓口 相談者 延べ23人 【精神保健相談】 ・保健師による面接・訪問・電話による相談者 実136人 延べ650人 【ことばとこころの相談の実施】 ・言語聴覚士、心理相談員による相談 26回 相談者 延べ434人	継続実施 こころの健康相談 10回 こころの悩み相談 30回 いのちのオンライン相談窓口 Web相談窓口/随時、LINE相談窓口/週1日2時間
		48	各種検(健)診による健康管理	健康増進課	各種検(健)診	がんや生活習慣病を予防する対策の一環として、各種検(健)診を実施。20歳以上の女性および40歳以上の検診対象者には、勧奨通知を送付し、受診を促した ・ヘルスチェック（20～39歳の人） 受診者 388人 ・成人歯科健診（40歳以上の人） 受診者 714人 ・胃がん検診（40歳以上の人） 受診者 3,964人 ・肺がん・結核検診（40歳以上の人） 受診者 14,848人 ・乳がん検診（40歳以上の女性） 受診者 4,129人 ・骨粗しょう症検診（40,45,50,55,60,63,65,68,70歳の女性） 受診者 1,246人 ・子宮がん検診（20歳以上の女性） 受診者 4,008人 ・大腸がん検診（40歳以上の人） 受診者 19,847人 ・前立腺がん検診（50歳以上の男性） 受診者 8,860人 ・肝炎ウイルス検診（40歳以上の人） 受診者 1,827人	継続実施 受診期間 集団検診5月～12月、個別検(健)診5月～11月

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標	
ライフステージに応じた男女の健康支援の推進	男女が共に人生を健康で過ごせる事業の推進	48	各種検(健)診による健康管理	健康増進課	各種検(健)診事業の周知、案内	健康増進課の事業案内・申込方法などの年間分を1冊にした「健康カレンダー」を作成し、「広報あげお」とともに配布した。 配布数 105,000冊	継続実施 配布数 105,000冊予定	
		49	第2次上尾市健康増進計画・食育推進計画による健康づくりの推進	健康増進課	健康づくり推進事業	第2次上尾市健康増進計画・食育推進計画(令和2~6年度)を推進中である。健康づくりや食育推進の主体である市民一人ひとりが積極的に取り組むことができるよう、庁内の関係各所属や外部関係機関と連携し、計画に基づく施策を推進するとともに、市民が取り組みやすい環境の整備を図っている。	継続実施	
	スポーツ等を通じた健康づくりの推進	スポーツ・レクリエーション事業の充実	50	スポーツ・レクリエーション事業の充実	スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーション事業	市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、心身ともに健康で充実した生涯スポーツ社会を実現するため、関係機関や地域、市民との連携・協働により、年代に合わせた教室の実施や取り組みの充実を図った。	市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、心身ともに健康で充実した生涯スポーツ社会を実現するため、関係機関や地域、市民との連携・協働により、年代に合わせた教室の実施や取り組みの充実を図る。
			50	スポーツ・レクリエーション事業の充実	スポーツ振興課	スポーツ大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第63回上尾市民体育祭 ※臨時財政運営方針に従い休止</li> <li>・第34回2021上尾シティハーフマラソン 期日 令和2年11月15日(日) ※コロナのため中止</li> <li>・第40回上尾市民駅伝競走大会 ※臨時財政運営方針に従い休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上尾市スポーツ健康都市宣言記念、健康スポーツ体験会</li> <li>・第64回上尾市民体育祭</li> <li>・第35回2022上尾シティハーフマラソン</li> <li>・第41回上尾市民駅伝競走大会</li> </ul>
			50	スポーツ・レクリエーション事業の充実	スポーツ振興課	スポーツ教室・講座・研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ講座 令和3年6月5日(土)~6月12日(土) 内容 1回:ランニング教室 2回:ノルディック・ウォーキング教室</li> <li>・夏休みスケート教室 令和3年7月29日(木)~7月30日(金) 参加者一日目91人二日目92人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ講座</li> <li>・夏休みスケート教室</li> </ul>
			50	スポーツ・レクリエーション事業の充実	スポーツ振興課	関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ講演会(上尾市スポーツ協会主催) ※コロナのため中止</li> <li>・いきいき推進事業(上尾市スポーツ協会主催) 随時開催 60回開催 延957人</li> <li>・令和3年度第3回ミニバレー大会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 令和3年12月12日(日)</li> <li>・小学生ドッジボール大会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 期日 令和3年6月20日(日) 参加者100人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ講演会(上尾市スポーツ協会主催)</li> <li>・いきいき推進事業(上尾市スポーツ協会主催)</li> <li>・令和4年度第4回ミニバレー大会(スポーツ推進委員連絡協議会主催)</li> <li>・小学生ドッジボール大会(スポーツ推進委員連絡協議会主催)</li> </ul>
			51	スポーツ等指導者の育成	スポーツ振興課	研修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッジボール審判講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 令和3年5月30日(日)、6月13日(日)</li> <li>・ミニバレー審判講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催) 令和3年10月10日(日)、11月14日(日)、12月5日(日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッジボール審判講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催)</li> <li>・ミニバレー審判講習会(スポーツ推進委員連絡協議会主催)</li> <li>・パラスポーツ実技研修</li> </ul>
	シングルマザーへの経済的自立の支援	ひとり親家庭等の経済的自立と就労支援	52	ひとり親家庭自立支援給付金事業の周知	子ども支援課	ひとり親家庭自立支援給付金支給事業	母子家庭の母と父子家庭の父の自立の促進を図るため、就職の際に有利である講座の受講、また生活の安定に役立つ資格の取得を目的とした修業に対し各給付金を給付した。 ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金給付件 23件 ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金支給件数 6件	引き続き、児童扶養手当の8月現況届提出の時期を利用し、制度の周知を図る。
			53	シングルマザーへの就労支援	子ども支援課	ひとり親家庭への就労支援等の情報提供	母子家庭の母のみならず父子家庭の父も含め、ひとり親家庭の対象者に対し、児童扶養手当の年度更新手続き時に合わせ、8・9月に就労相談会を開催した。また、上記対象者と寡婦に対する経済的自立や扶養している子どもの福祉増進のために必要な資金を貸し付ける埼玉県制度についても周知を行った。	引き続き、就労に結びつく情報の提供や福祉資金貸付制度の周知を図る。

施策	事業	概要No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
高齢者が生きがいを持って社会参加の促進	高齢者が生きがいを持って社会参加の促進	54	いきいきクラブへの活動の支援	高齢介護課	いきいきクラブへの補助金交付と単位クラブの指導、育成	地域でのスポーツやレクリエーション活動等を行う単位クラブに補助金の交付、市連合会主催の芸能大会や創作展示会の開催を通じた他地区の会員との交流の場など、コロナ禍においても高齢者が社会活動に参加する機会を作った。 ・女性会員の割合 54.6% (2,573人/4,707人) ・女性会長の割合 5.8% (5人/86クラブ)	R4から市連合会副会長に女性を登用した。コロナ禍でR3に中止となった事業について、女性副会長並びに女性部の協力のもと、開催できるよう支援を行っていく。また、手芸教室は女性部の協力が必須な為、会場の確保をはじめ、継続した開催を支援して行く。
		55	シルバー人材センター事業への支援	高齢介護課	シルバー人材センターへの補助金の交付	高齢者の就業と生きがいを支援する団体として活動するシルバー人材センターに対して、運営費の一部を補助した。シルバー人材センターの会員数が全国的に減少傾向にある中、会員拡大に向けては、前年度に引き続き、「広報あげお」への募集記事の掲載、女性のための入会説明会を4回開催し、積極的に女性会員の入会の促進を図った。また、会員ご紹介カードの配布のほか、新たに、入会キャンペーンの実施、市内全域に新規会員募集のチラシの全戸配布を行った。女性会員の割合31.7% (431人/1,358人)	女性のための入会説明会など、積極的に女性会員の入会の促進を図っていることから、自治会への周知の際など、シルバー人材センターと連携して、事業への支援を行っていく。
		56	高齢者学級の開催	生涯学習課(公民館)	高齢者の生きがいづくりや生涯学習のきっかけづくりとなる講座の実施	【上尾公民館】 「シニア向け スマートフォンで防災対策を学ぶ」 参加者12人、 「ふるさと学級」 参加者14人(延べ29人) ①郷土の有形・無形民俗文化財を知る(講師の都合により中止) ②上尾の積田・畑作用具 ③私たちのアンコンジャスハイアス(無意識の偏見)を考えてみよう ④フォークコンサート～音楽を楽しもう～ 【上平公民館】 「いきいき教室」 参加者22人(延べ40人) ①詩吟体験 ②認知症予防教室 「学んで気付けて始めよう!フレイル予防講座」 参加者16人(延べ53人) 【平方公民館】 「たちはな学級」 参加者24人(延べ93人) ①コロナウイルスと免疫について ②おなか元気教室 ③銭太鼓に挑戦 ④相続おしかり講座 ⑤昭和歌謡ショー 「学んで気付けて始めよう!フレイル予防講座」 参加者12人(延べ41人) 【原市公民館】 「学んで気付けて始めよう!フレイル予防講座」 参加者23人(延べ59人)、 「原市高齢者学級」 参加者13人(延べ61人) ①シニアの生き方・学び方 ②ウォーキングエクササイズ ③懐かしい音楽と共に ④自分らしさって何?～多様な性と人権～ ⑤交通事故防止のために 【大石公民館】 「介護・転倒予防筋トレ体操教室」 参加者19人(延べ24人)、 「大石若返り学級」 参加者20人(延べ67人) ①講談「渋沢栄一」 ②終活に向けたライフプラン ③身近な人権～高齢者の幸せ～ ④映画鑑賞「ローマの休日」 【大谷公民館】 「大谷いきいき学級」 参加者9人(延べ34人) ①終活講座 ②映画鑑賞「おくりびと」 ③元気にラジオ体操 ④歴史講座「お城の楽しみ方」	引き続き高齢者向けの講座を実施する。
高齢者が安心して暮らせる環境づくりの推進	高齢者が安心して暮らせる環境づくりの推進	57	市内施設への介護相談員の派遣	高齢介護課	市内施設への介護相談員の派遣	市内施設に介護相談員を派遣し、施設における介護サービスの質的向上と入所者の不安・疑問の解消を図る予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施できなかった。 ・女性介護相談員の割合 68.8% (11人/16人)	新任者等への研修実施。施設派遣。 ・女性介護相談員の割合 72.2% (13人/18人)
		58	市内福祉施設関係職員等を対象とした研修の実施	高齢介護課	養護老人ホーム恵和園職員の研修	【恵和園外部研修】全18回 参加者延べ30人(施設長17人、支援員7人、相談員1人、事務職1人、栄養士1人、介護士2人) *女性職員の参加延べ人数 6人、女性職員の参加割合 20%  【恵和園内部研修(施設内)】全14回 ・感染症、食中毒防止対策研修会・勉強会*2回以上 ・事故防止対策関連(誤嚥防止:誤薬・誤配膳、入浴事故防止、褥瘡防止〔自立施設は法令外〕含む)研修会・勉強会*2回以上 ・身体拘束、高齢者虐待防止対策研修会・勉強会*2回以上 ・個人情報保護法関連研修会・勉強会*1回以上 ・同問題関連研修会・勉強会(人権に関する研修や啓発)*1回以上 参加者延べ146人(施設長16人、看護職22人、介護職27人、事務職9人、相談員21人、支援員42人、栄養士9人) *女性職員の参加延べ人数 75人 女性職員の参加割合 51.4%	【恵和園外部研修】19回 *うち女性職員の研修参加割合 22%  【恵和園内部研修(施設内)】19回 *うち女性職員の研修参加割合 54%
		59	地域包括支援センターによる事業の実施	高齢介護課	地域包括支援センターによる総合相談支援等の実施	地域包括ケアを支える中核機関である地域包括支援センターにおいて、総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的マネジメント支援、介護予防・日常生活支援などの事業を行っている。 【みのり倶楽部】 高齢者の認知症予防を目的とし、みのりの支援ボランティアが週1回脳の活性化につながるドリルを対象者に郵送した。 みのりの支援ボランティアの女性の割合 90% (54人/60人)	地域包括ケアを支える中核機関である地域包括支援センターにおいて、総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的マネジメント支援、介護予防・日常生活支援などの事業を実施予定。中でも、従来からみのりの支援ボランティアは女性の割合が多い状況である。
		60	民生委員による単身高齢者調査の実施	高齢介護課	高齢者への情報提供と相談の実施	民生委員・児童委員は常に地域社会の実情を把握することに努め、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に寄与している。 毎年、65歳以上の単身高齢者を対象とした調査を民生委員に依頼している。約2か月かけて、高齢者と面接を行い、緊急時の連絡先や困りごとについて聞き取り調査を実施した。また、折に触れて見守りを行い、必要な情報提供を行った。 ・民生委員317人(男性81人、女性236人) *女性の民生委員の割合 74.4% ・対象者15,050人(男性4,980人、女性10,070人) *女性の単身高齢者の割合 66.9% ※令和4年2月1日時点	引き続き女性の民生委員を推薦していく。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
障がいのある人が生きがいをもち、安心して暮らせる環境づくりの推進	障がいのある人が生きがいをもち、安心して暮らせる環境づくりの推進	61	障がい者団体等への活動支援	障害福祉課	障害者団体への活動支援	<p>ロータリークラブや百貨店等の企画や協力による事業と障害者施設における自主製品販売等により、障害者の社会参加促進に大きく貢献した。</p> <p>◆第21回元気あっぷフェスタ（新型コロナのため実施せず） ◆第41回ふれあい広場（上尾市文化センター）（新型コロナのため中止） ◆上尾市障がい者手づくり市（R3.4.17、R3.7.17、R3.11.20）（上尾駅自由通路） 主催：上尾市障がい者手づくり市実行委員会 内容：障害者施設等の自主製品販売 ◆第32回上尾市障がい者作品展示即売会（R4.2.25～2.28）（丸広百貨店上尾店）（新型コロナのため実施せず） 主催：上尾ロータリークラブ 協賛：(株)丸広百貨店 内容：障害者施設等の自主製品販売</p>	障害者団体への活動支援として、引き続き販売イベントを開催する。
		62	障がい福祉サービス説明会や講座の開催	生涯学習課（公民館）	活動場所の提供及び講座の実施	<p>【活動場所の提供】 利用回数63回 延べ利用人数931人 【公民館講座】 実績なし</p>	引き続き活動場所の提供を行う。また、公民館講座の実施について検討する。
		62	障がい福祉サービス説明会や講座の開催	障害福祉課	市内障害福祉サービス（通所）説明会	新型コロナウイルスのため未実施	市内事業所案内リーフレット作成。
		63	市内福祉施設関係職員を対象とした研修の実施	障害福祉課	障害福祉関係職員の研修の実施	<p>・障害者福祉施策委員会は2回実施、 ・地域自立支援協議会においては、研修機能をもった7つの部会と2つのプロジェクトを毎月～隔月間隔により定期的に行なった。</p>	障害者福祉施策委員会 3回実施 地域自立支援協議会7部会2プロジェクトを毎月～隔月での定期開催を行う。
	障がいのある人が安心して暮らせる地域づくりの推進	障がいのある人が安心して暮らせる地域づくりの推進	64	関係団体への支援	障害福祉課	障害者団体の補助金交付	<p>障害者の自立に向けた取り組みを行っているNPO法人上尾市身体障害者福祉会と上尾市聴覚障害者協会に対して、運営費の補助を行った。 補助額 349,000円</p>
65			ユニバーサル・デザインやバリアフリーによるまちづくりの推進	障害福祉課	障害者のシンボルマークを配布	「ハート・プラスマーク携帯用カード」「ヘルプマーク」を窓口で希望者に配布した。	「ハート・プラスマーク携帯用カード」「ヘルプマーク」を窓口で希望者に配布する。
男女共同参画の視点に立つ国際理解と国際交流の推進	国際理解のための啓発の推進	66	男女共同参画に関する国際的な取り組みの情報収集と提供	市民協働推進課	あげおワールドフェア2021の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	R4年度より、あげおワールドフェアを開催予定。
		67	外国人市民を含む市民の国際理解の促進	市民協働推進課	あげおワールドフェア2021の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	R4年度より、あげおワールドフェアを開催予定。
		67	外国人市民を含む市民の国際理解の促進	生涯学習課（公民館）	多文化共生を知るきっかけとなる講座の実施	<p>【上尾公民館】 「はじめてのヒンメリ」 参加者24人 【上平公民館】 「韓国文化講座」 参加者6人 【大石公民館】 「インド人シェフ直伝！本格スパイシーチキンカレー」 参加者12人 【大谷公民館】 「ドイツの伝統的菓子パン”シュトレン”を作ろう」 参加者8人</p>	引き続き多文化共生を知るきっかけとなる講座を実施する。
	外国人市民への支援と国際交流活動の充実	外国人市民への相談事業	68	外国人市民への相談事業	市民協働推進課	外国人市民のための相談（ハローコーナー）の実施	<p>毎月第1、2、3、5月曜日と第4土曜日に英語、スペイン語、中国語、ポルトガル語を担当する女性相談員が、外国人市民に対して相談業務を実施した。なお、第4土曜日のみ聖学院大学の留学生の通訳を介して、ベトナム語での相談も実施している。相談業務を通して男女共同参画社会に向けた啓発を行った。 相談件数 339件（うち74件は電話通訳に外部委託） 内訳 ス페인語211件、ポルトガル語10件、英語68件、中国語17件、ベトナム語15件、日本語9件</p>
69			「広報あげお」等による生活情報の提供	市民協働推進課	<p>①Highlights（ハイライト）の「広報あげお」掲載 ②上尾市Webサイトの自動翻訳機能 ③Hello Corner News（ハローコーナーニュース）の発行</p>	<p>①毎月「広報あげお」に掲載している記事や外国人市民向けの情報を、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語で掲載した。 ②上尾市Webサイトに英語、中国語（簡体字、繁体字）、ハングルでの自動翻訳機能を導入している。 ③毎月ハローコーナーニュースを発行し、生活・教育・医療・イベント等に関する情報を英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語で発信した。</p>	実施を継続する。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和3年度事業実施状況	令和4年度目標
男女共同参画の視点に立つ国際理解と国際交流の推進	外国人市民への支援と国際交流活動の充実	70	国際交流活動関係団体との協働	市民協働推進課	上尾市国際交流協会の活動支援	<p>上尾市国際交流協会（Ageo Global Association 通称AGA「アガ」）の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数 個人会員109人、家族会員12家族、ジュニア会員0人、団体会員2、賛助会員1</li> <li>・全体事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>あげおワールドフェア2021：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>あげおヒューマンライツミーティング21：新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となり不参加となったが、代替として部会事業の「国際理解推進部会」でオンライン外国人講演会を開催</li> <li>・部会事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;外国人支援部会&gt;</li> <li>ボランティアによる日本語教室（火・水曜日）：5月からオンライン教室を開始し91回実施</li> <li>日本語を母語としない子どもの学習支援 AGA子ども教室（土曜日）：4月のみ3回開催。以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>日本語ボランティア指導員養成講座（オンライン開催）</li> <li>日本語ボランティア指導員スキルアップ研修会（対面およびオンライン開催）</li> <li>子ども教室指導員スキルアップ研修会</li> <li>多文化子育てお母さんの会、外国人のための勉強会、国際理解に関する勉強会</li> <li>&lt;国際理解推進部会&gt;</li> <li>AGAサロン：1回のみオンラインで開催（参加11人）</li> <li>サマーパーティー（オンライン開催）、ウインターパーティー</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>コロナウイルスの状況を見ながら、各事業を実施していく。</p>